



シリーズ ちいきのたから

秋田県立花輪高等学校

青春チーム☆

市内には、地域を元気にする活動がたくさん埋もれています。その中から「ちいきのたから（若者）」に焦点を当て、地域活性化のための取り組みを発掘し紹介、皆さまに元気な話題と活力をお届けします。

インタビュー

前列左から
今川教頭、藤江星羅さん、田村柊慥さん、田村楓雅さん、児玉瑠斗さん、秋元輝仁さん

試作段階では、自分好みの味から遠ざかったり意見の食い違いもあって悩むこともあったけど、最終的に納得したラーメンが完売できて嬉しかったです。（瑠斗）

たくさんさんのメディアに取り上げられるなど、すごい反響でしたね。ラーメン販売の感想を聞かせてください。

青春ラーメン 200食が完売！

PTAの方から「ラーメンを作って地域を盛り上げてみないか」と、食物部に提案があって、ラーメン好きだし面白そうというのが結成のきっかけで、最初は十和田市民センターのイベント、青空市場で販売することを目標として、理想ラーメンの味を決めたり、調理方法などを学びました。（瑠斗）

結成と活動について教えてください。

花輪高校 「青春チーム」 とは？

最初は楽しそうだなって思ってたけど、活動を始めるとうまいかないことや、ピリつくこともあって。でも当日は思っていたより早く完売して嬉しかったです。（楓雅）

食物部に遊びに来た時に誘われて、それから逃げれなくなって（笑）でも活動しているうちにどんどん楽しくなってきた、完売した時の達成感はずよかった。（輝仁）



よくラーメンを食べるから、詳しい作り方に興味を持って青春チームに加わりました。味を決めるときとかは何度も意見がぶつかり合ってたけど、食を重ねて。完成したラーメンを完売させられたことは、自分の中の自信につながりました。（柊慥）

わたしはラーメンが大好きで、話があったときからすごく楽しそうって思ってた。チャージシューづくりを担当したんですが、八幡平ポークや福寿のしょうゆなど地元産の食材を使ったのが良かったです。（星羅）



限定のラーメンを味わおうと、たくさんの方の列ができました。
（十和田市民センター祭りの青空市場）